



いわき市

市制施行 50 周年記念事業

実施報告書

いわき ステキ 半世紀

いわき市



はじめに

更なる 50 年に向けて

本市は、平成 28 年度、市制施行から 50 周年という大きな節目を迎えました。

この間、石炭産業の終焉など幾多の試練に直面しながらも、南東北の拠点都市として発展を遂げてきたところであり、ふるさとの発展に御尽力いただいた先人に、改めて深く敬意を表する次第であります。

今を生きる私たちは、先人の思いを受け継ぎながら、東日本大震災という大きな苦難を乗り越え、復興を必ずや成し遂げ、未来を担う後進に「ふるさといわき」を継承していかなければなりません。

このような思いのもと、昨年 10 月 1 日に「いわき市市制施行 50 周年記念式典」を盛大に開催し、市制施行 50 周年の大きな節目を全市民を挙げて祝うとともに、復興の先を見据えた更なる 50 年に向かう契機とすべく、「絆・交流」「まち力向上」「郷土愛」「未来・夢・希望」「魅力発信」の 5 つのテーマを掲げ、様々な記念事業を実施いたしました。

各地区の特色を生かした取組みとして、市全域を博覧会場に見立てた「いわきサンシャイン博」をはじめ、「磐城平城復元『一夜城』プロジェクト」やいわきを舞台とした映画「超高速！参勤交代 リターンズ」の応援などを通じて、郷土への理解や本市の魅力を改めて再発見する機会となったほか、復興のシンボルとしてめざましい変貌を遂げようとしている小名浜地区では、「いわき花火大会」や「小名浜『胃・飾・縦』プロジェクト」などにより、まちの賑わいが創出され、小名浜港を中心とした地区の拠点性の向上に大きく寄与したものと受け止めております。

また、「WBSC U-15 ベースボールワールドカップ 2016 in いわき」や「中核市サミット 2016 in いわき」などの開催を通じて、交流人口の拡大や地域活性化とともに、本市の復興する姿を国内外にアピールすることができました。

これらの各種事業では、市民の皆様をはじめ本市に関わる様々な主体と連携し、取り組むことにより、本市の復興から創生へと力強く踏み出す活力の醸成が図られるとともに、本市の魅力や明るく元気な姿を広く内外に発信できたところでもあります。また、これらの取組みは、市民の皆様の笑顔や元気を取り戻す『心の復興』につながるとともに、本市が積み重ねてきた歴史や先人たちの業績を見つめ直し、改めて、ふるさとを愛する心を育む大きな契機になったと考えております。

今後とも、更なる 50 年に向けて、記念事業の取組みの成果を生かし、誰もが「住んで良かった、住み続けたい」と思える魅力にあふれた「ふるさといわき」の実現を目指し、「市民と市、様々な方と『連携』する『共創』のまちづくり」に取り組んで参ります。

平成 29 年 5 月

いわき市長 清水 敏男

目 次

はじめに	
記念事業の概要	1
記念式典	3
記念事業	10
1 テーマ毎の事業成果	10
2 市民等の企画アイデアの反映（記念事業プレゼン大会の開催）	13
3 いわきサンシャイン博	14
4 記念事業一覧	20
5 各事業の取り組み	24
連携事業	49